■令和6年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
重点課題：学術研究都市づくり　　施策：“糸島サイエンス・ヴィレッジ”実現化プロジェクト

【施策評価】

通し番号	施策統括課	施策統括部	関係課	R5事業数	R5決算額（千円）	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状（R1）	R5実績	R5計画	R6計画	R7目標	年度達成率	計画期間達成率	平均達成率	指標の達成度	【評価の所見】 施策指標の各達成率や事務事業の評価結果などから、指標の達成度に対する理由と今後の方向性を入力	R7以降の事業の方向性
62	学研都市づくり課	経済振興部	都市計画課、学研都市づくり課–	1	18,989	168	サイエンス・ヴィレッジへの参入企業・研究所等数	社	0	0	1	1	2	100%	0%	0.0%	B	九州大学の研究を実用化・事業化につなげることを目的としている糸島サイエンス・ヴィレッジ（SVI）に立地したいとう意思表明をした企業・研究所は、令和5年度、延べ356団体、733人に対し案内・協議を行ったものの、結果はゼロだった。 しかしながら、SVI実現のためという名目で、市に対して企業版ふるさと納税を40,000千円以上いただいた。これをSVI推進協議会への事業負担金として拠出し、各種実証事業の実施、SVIまちづくり構想の策定、Webページや動画発信、イベント実施などの広報・周知活動強化、旧清掃センターの事務所改修などに取り組むことができたため、達成度はBとしたい。 令和6年度も引き続きSVI推進協議会が各プロジェクトを実施し、SVIの事務所のある志摩馬場において実証事業のショーケース化を図り、SVIの実現へ向けた取り組みに賛同してもらえる企業等を増やし、将来的な立地につなげていきたい。	成果上昇、コスト増大

【事務事業評価】

歳出科目（R5決算）				事業3名	担当部署	始期	終期	会計	事業概要（対象、手段、目的、成果）	活動指標	R3実績	R4実績	R5実績	R5計画	R6計画	目標値（終期）	R5達成率（%）	R3決算	R4決算	R5決算	R6計画	評価	評価の所見 指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由	関連施策指標NO
款	項	目	事業2名																					
2	1	7	九州大学連携推進費	糸島サイエンス・ヴィレッジ実現化事業（重プロ）	学研都市づくり課	令和2年度	令和7年度	一般会計	対象 （一社）ＳＶＩ推進協議会 手段 糸島市や九州大学などの産学金官で構成する（一社）ＳＶＩ推進協議会を中心として各種プロジェクトを展開しながら、九州大学伊都キャンパス西側地区に糸島サイエンス・ヴィレッジを実現させるための協議・検討を進める。 目的 さまざまな分野の企業・研究者や学校などが集積し、イノベーションや新産業が生まれ、地域と大学の学生・教職員などが活発に交流する真の学術研究都市を構築する。 成果 糸島サイエンス・ヴィレッジの実現 【令和３年度】 （一社）ＳＶＩ推進協議会事務所（旧清掃センター）の環境整備 【令和４年度】 ローカル５Ｇ設備及びサーバー設置 【令和５年度】 SVIまちづくり構想策定 太陽光パネル設置、直流給電による照明点灯	訪問・協議・視察対応した企業・団体数（延べ数・累計）	–	264	620	400	800	1,000	155	808	650	18,989	24,787	A	実証事業も進み、SVIまちづくり構想も策定したため、企業の視察対応やまちづくり構想の紹介等が多数あった。 九州大学内においてもまちづくり構想の策定段階で意見照会を行うなど、取り組みを周知する活動としてじゅうぶんな達成状況であった。	168